

会派の代表者が施政方針や予算案の概要に対して質問しました

2月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 31 items including budget approvals and ordinance amendments.

<賛否が分かれた議案>

Table with 10 columns: 議案番号, 件名, 結果, and 10 party columns (Green Water, New Future 21, etc.). Shows voting results for 10 items.

※ ○:賛成 ×:反対
※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

<令和4年度三島市一般会計予算案の討論について(発言順)>

Table showing the order of speakers for the budget discussion, including names like 土屋利絵 and 鈴木文子.

政和会

大石 一太郎



健康診査制度の充実、がん検診への取り組み

問 コロナ禍の今、市民の健康維持に向けた疾病等の早期発見・早期治療や、健診体制の充実が大切である。特に死亡原因のトップであるがんの罹患率は高い。予防対策と健康寿命の延伸等、がん検診への対応方針について伺う。

答 対象者全員に送付している通知の工夫、広報やホームページでの周知、保健委員活動での啓発、市民メールやラインの活用、健康経営に取り組んでいる企業と連携し、健康教育の場で検診の必要性を伝える等、受診率の向上を図り健康寿命の延伸につなげたい。

広域道路ネットワークの形成に向けた道路の整備状況は

問 三島駅北側は道路網が整備され、経済活動と市民利便性が高まった。残る谷田幸原線第2工区と西間門新谷線の整備はともに土地利用・事業効果が高い路線であり、早期完成を急ぐべき。新谷工区の国道交差点協議と事業進捗について伺う。

答 西間門新谷線は、平成29年度から新谷地内の第2工区の事業に着手し、現在、用地買収や物件移転補償、工事を進めている。国道136号の交差点については、静岡県との協力を得るべく、要望書を提出し勉強会を開催するとともに、市で設計等を進めている。

食を介した地域コミュニティ・多世代交流の場づくりは

問 独居高齢者、困窮世帯、ヤングケアラー等多世代交流の拠点「地域食堂」を新たな居場所とし、食事と会話、地域コミュニティの場として立ち上げる政策融合と、施設の継続運営に向けた支援制度の構築・検討ができないか伺う。

答 子ども食堂は貧困家庭に限らず地域における多世代交流の場や居場所となるなど、社会での捉え方、役割に変化が見られ、地域食堂にもなり得る可能性があるため、高齢者の居場所への取り組みも含め調査研究していく。

日本共産党議員団

服部 正平



温室効果ガス排出量の削減見込みの根拠

問 当市は、地球温暖化の原因といわれる温室効果ガスを、2031年度までに2013年度比46%以上削減することを目標としている。現在、当初計画から遅れている削減率を取り戻し、達成できるとする根拠について伺う。

答 温室効果ガス削減見込み量の根拠となる主な取り組みとしては、市民・事業者アンケートに基づく省エネ機器等の導入の意向状況や、国の地球温暖化対策計画に基づく施策波及分、クリーンエネルギー自動車の導入、廃プラスチック燃却量の削減等を根拠としている。

誰もが自分らしく個性と能力を発揮する市の取り組み

問 同性婚や夫婦別姓の法制度を求める国民意識が高まり、125自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当することを証明する「パートナーシップ制度」を導入している。三島市も速やかに導入すべきと考えるがいかがか。

答 この制度を有効に運用し、利用者の利便性を高めるためには、広域で取り組むことが望ましいことから、県に制度の導入等を要望し、県広域のパートナーシップ制度について、令和4年度中の運用開始に向け、現在、県が各市町との調整を行っている。

新型コロナウイルス感染症対策の新規事業の優先順位は

問 感染症の影響により物価が高騰し厳しい経済状況の中、感染対策として「ツアーバス誘客」、「観光客滞在促進」等の新規事業や、「にぎわい創出のための「三嶋大祭り補助金拡充」が行われているが、今、これらは優先すべき事業か。

答 三嶋大祭りは経済効果のみならず伝統文化の継承や市民の郷土愛醸成にも重要なイベントであり、十分な感染対策を行い実施したい。ウィズコロナの時代を見据え、経済の活性化も重要であるため、これまで行ってきた支援内容等も考慮し、必要な事業を実施していく。